

令和2年12月8日

保護者の皆様へ

校長 上野勝敏



調布北 校長だより 第33号

令和2年度 第11号



新型コロナウイルスの感染者数が増加する中で本日無事に2学期期末考査を終了することが出来ました。ご家庭での感染防止のご指導に深く感謝申し上げます。今後も感染者数は高止まりで推移するものと考えて、学校も気を引き締めて新たな日常づくりに励みたいと思います。今後3年生は初の共通テストに挑み、2年生は修学旅行に向けての準備を加速していきます。適度な緊張感を楽しむ気概で乗り切ってほしいと願っています。引き続き保護者の皆様のご支援ご協力が頼みとなります。何卒どうぞ宜しくお願い致します。

最後に、令和2年も残すところ少なくなって参りました。お身体くれぐれもご自愛ください。

<今日の言葉>

何かあったら対抗するのではなく対応する

感情的になる自分を抑える術を身に付ける

香港のニュースが大きく扱われた1年でした

今年も様々な国際ニュースが流れました。私のように還暦を過ぎると忘却スピードが高まり往生（ほんの少し？）しています。しかし、そんなたくさんのニュースの中でも個人的には今年は香港のニュースが多かった印象を持っています。

勝手ながら今回は、巷間よく聞く『一国二制度』の香港について記載したいと思います。

かつてイギリスが統治していた香港（今は中国の特別行政区）と中国の関係は、第1次アヘン戦争が勃発した1840年までさかのぼります。アヘン（麻薬）の合法化を迫るイギリスが当時の中国の清国を負かし、1842年の南京条約で香港島が中国からイギリスに割譲されイギリスの永久領土となったのでした。

さらに、アロー号事件（第2次アヘン戦争）で1860年の北京条約が締結され中国本土の九龍半島の南端がイギリスに割譲されたのでした。

その後、イギリス領となった上記2地域に加えて中国との緩衝地帯が注目され、1898年に香港の防衛のためと称して、九龍半島にある広い道（界限街）より北、深圳河を境にその南、更にランタオ島などの200余りの島嶼を含む土地をイギリスが99年間租借し、ここを新界 (New Territories) と命名したのでした。

以後、上記3地域はイギリスの統治下に置かれ、太平洋戦争で1941（昭和16）年12月に日本が占領するまでイギリス領だったのです。皆さんは日本が香港を支配していたことも知らなかったと思います。ニュースはそのような事実はなかなか伝えていないようです。

日本が敗戦となり香港は再びイギリスの統治下に復帰し、その後、香港はアジアにおける特異な存在

となり、アジアの金融センターとして繁栄してきました。

しかし、1898年からの租借期限の1997年が近づくに従い、動きは微妙になってきました。特に1982年9月に「鉄の女」と呼ばれた女性首相マーガレット・サッチャーが訪中して交渉が始まるとその動きは顕著になります。実は同年6月には南米のアルゼンチンとの領土紛争（フォークランド紛争）で勝利したサッチャー首相は、当初租借期限が終了する新界のみの返還のつもりだったのですが、時の中国共産党の指導者鄧小平に押されてしまい永久領土であった香港島と九龍半島も一緒に返還することにしてしまったのです。

こうして1997年7月1日香港の主権は中国に返還され中国の特別行政区となったのです。いまでも返還式の記憶は残っています。6月30日最終の日の夜中の0時直前にイギリス国歌でイギリス旗が降ろされ、7月1日午前0時に中国国歌に合わせて中国国旗が掲揚されたのです。ただし50年間（2047年まで）は香港の高度な自治を認める『一国二制度』の約束は交わされていました。今年香港で民主化のデモが頻発したのはこの50年を待たずに相次いで高度な自治の約束が反故にされたからです。

如何でしょうか？歴史は様々な切り口や見方があります。ある人はイギリスがアヘンを使って中国を侵略したことに怒りを覚えるかも知れません。ある人はサッチャー首相の外交が間違っていたと批判するかも知れません。そして、ある人は中国の人権政策を問題にするかも知れません。

1つの歴史からもこんなに多くの切り口があります。知れば知るほど学びは深くなります。皆さんが大学に進学する意義を明確にしたい時があると思いますが、大学では高校以上に主体的・対話的で深い学びが出来ることが何より大きな意義だと思います。学ぶということはとても贅沢なことなんですよ。

部活動も活躍しています

今年のコロナ禍の下で、学校行事と部活動は大きな影響を受けましたが、生徒主体での学年行事や国内修学旅行など、新たな試みを進めました。部活動も大会の中止や制限など困難な状況はありましたが、生徒たちは文武両道を実践し、成果を残してくれました。

11月22日(日)に東京武道館で開催されたなぎなた秋季大会では、男子個人戦で優勝と準優勝を勝ち取り3月開催予定の全国大会に出場します。女子の団体戦でも3位入賞を果たしました。

書道部も「第33回東京都高等学校文化連盟書道展」に各部員が力作を出展し、3点の作品が「都教育委員会賞」・「優秀賞」・「会長奨励賞」を頂きました。

サッカー部は秋の新人戦トーナメントで私立高校2校に連勝し、この週末には3回戦で強豪私立高校と戦います。

ここで紹介できなかった部活動も、皆頑張って活躍しています。生徒たちは勉強にも部活動にもひたむきに、一生懸命に取り組んでいます。

そして年明けには高校3年生が大学入試という全国大会に挑みます。調布北高校の仲間と共に、ワンチームで受験勉強のラストスパートをかけています。3年生の頑張りを、心から応援しています。



【問合せ先】 副校長 松田晴美
TEL042 (487) 1860